

京都発・庭の歴史

今江 秀史

◎本書の内容◎

- ✓ 小学校と平安貴族の屋敷の共通点とは？
- ✓ 平安貴族は庭で地べたに座り、食事を楽しんでいた。
- ✓ 江戸時代、火事災害が庭の面積を拡大させた。
- ✓ 文化財指定が、庭の所有者の「丸投げ」を引き起こす？
- ✓ 「庭園」と「庭」の違いとは？

序章 時を越えてつながる小学校と平安貴族の住宅

第1章 使わなければ庭ではない——平安時代

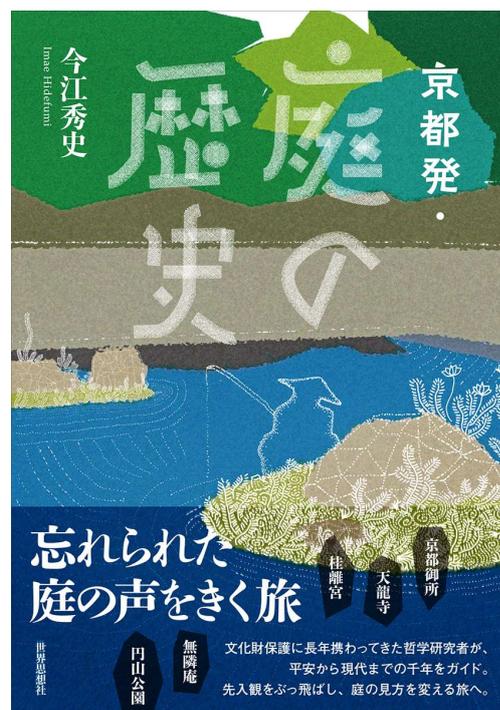
第2章 見映え重視のはじまり——平安後期～安土・桃山時代

第3章 百「庭」繚乱——江戸時代

第4章 庭づくりのデモクラシー——近代

第5章 伝統継承の最前線に立つ人々——現代

終章 庭の歴史と現象学



庭の見方が変わる！

京都市文化財保護課に長年勤務し、庭の現場を知りつくした哲学研究者が、平安から現代までの千年をガイド。
日本人が忘れてしまった庭の4つの基本をレクチャーし、先入観をぶっ飛ばす。

京都発・庭の歴史 今江秀史 定価2,640円 (10%税込) 2020年7月刊行 ISBN9784790717430 四六判・並製/232頁		ご注文冊数 冊
お名前	お電話番号	書店印
ご住所〒		
 世界思想社		〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56 電話:075-721-6500 FAX:075-721-8707